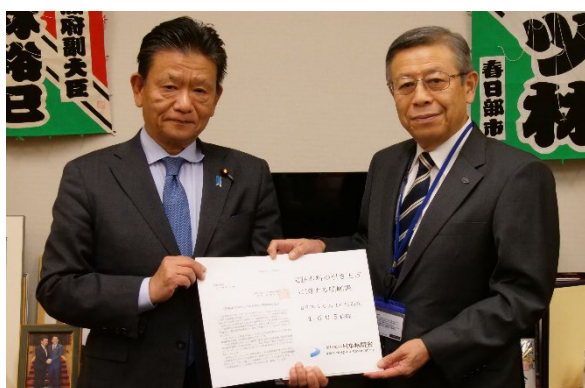


# 「入院基本料の引き上げに関する嘆願書」提出報告

全国の4605病院から届けられました嘆願書を武見厚生労働大臣をはじめとし、国会議員の先生方へ提出いたしました。



10月20日 武見敬三厚生労働大臣



26日 三ツ林裕巳衆議院議



26日 下村博文衆議院議員



26日 松本尚衆議院議員



27日 田畑裕明衆議院議員



27日 田村憲久衆議院議員

令和5年10月20日

厚生労働大臣  
武見敬三様

一般社団法人 日本病院会  
会長 相澤孝夫



入院基本料引き上げのお願い(嘆願書の提出)

日本病院会では、本年3月に別紙のとおり「入院基本料の引き上げに関する要望書」を提出させていただきましたところ、本要望に賛同する4,605病院(10月16日現在)から嘆願書が届けられました。

国民に対し病院医療を安定的に提供するため、現行制度では入院という組織的な医療提供体制を総合的に評価する観点から、入院環境料、看護料、入院時医学管理料が一体的に評価されているものと承知しております。

しかしながら、入院基本料は、これまで2006年度から15年間は消費税増税時を除き、ほぼ据え置かれております。

このため病院においては、職員の確保・処遇改善、施設設備機器の維持更新のための財源として、また、医師の働き方改革への対応としてのワークシェア等のためにも、入院基本料の引き上げが必須と考えております。

厚生労働大臣におかれましては、病院の訴えである嘆願書を受け入れられ入院基本料の引き上げの必要性をご理解いただき、そして次期診療報酬改定においては、大幅な入院基本料の引き上げを判断されますよう、日本病院会は4,605病院の声を代弁し強く要望いたします。